

ご使用に際しては、この添付文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第 2 類医薬品

ウチダの漢方製剤

ウチダの 乙字湯 エキス散

オツジトウ

ウチダの乙字湯エキス散は、漢方処方にしがたい生薬を配合し抽出して得た水製エキスを服用しやすく細粒としたものです。



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (5) 高齢者。
 - (6) 今までに薬等により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (7) 次の症状のある人。
むくみ
 - (8) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等が見られ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
4. 1 ヶ月位（きれ痔、便秘に服用する場合には 5 ～ 6 日間）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

大便秘結傾向のあるものの次の諸症：
痔核（いぼ痔）、きれ痔、便秘

用法・用量

次の 1 回量を 1 日 3 回食前または食間に服用する。

年 齢	1 回 量
大人（15 歳以上）	2 g
15 歳未満 7 歳以上	大人の 2/3 の量
7 歳未満 4 歳以上	大人の 1/2 の量
4 歳未満	服用しないこと

用法・用量に関連する注意

- (1) 添付のサジ 1 ばいが約 1 g です。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分・分量

本品 1 日量（6 g）中

乙字湯エキス	2.44 g
トウキ	3.6 g
サイコ	3.0 g
オウゴン	1.8 g
カンゾウ	1.2 g
ショウマ	0.9 g
ダイオウ	0.6 g

賦形剤として乳糖水和物・バレイショデンプン、吸湿防止剤としてメタケイ酸アルミン酸 Mg を含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）

●お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記にお願い申し上げます。

株式会社 ウチダ和漢薬 03 - 3806 - 4141
受付時間 9:00～17:30（土、日、祝日を除く）

本剤は生薬を原料としていますので、製品により多少色が異なる場合がありますが、効能・効果にかわりはありません。



株式会社 ウチダ和漢薬
東京都荒川区東日暮里 4-4-10